

# 西大和つうしん

2020年9・10月号  
No.457



摩尼山から楊柳山をめざして、尾根道を登る《2020.8.23》

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第457号(2020年9・10月号)

## 【目次】

10月度山行計画	2
11月度山行計画	3
10・11月度カレンダー	4
山行・行事等参加メモ	5
山行報告	
・自主山行 《8/4-8》 北アルプス 雲ノ平(橋本・岩田)	6
・自主山行 《8/14》 生駒山地 生駒山(中)	8
・自主山行 《8/20-23》 北アルプス 薬師岳～五色ヶ原～室堂(野路)	9
・例会山行 《8/23》 紀伊山地 高野三山(玉野)	12
・例会山行 《9/6》 室生山地 赤目四十八滝(藤井)	13
・自主山行 《9/13-17》 北アルプス 西穂高岳～奥穂高岳～槍ヶ岳(野路・島崎)	14

## 10月度山行計画

～大和平野が一望できる好展望の山。他会の方々と交流しながら歩きましょう～  
奈良県連交流山行

### 例会山行2 奈良中部の山 《竜王山》 586m

- 【日程】10月4日(日) (L橋本)  
※参加者はリーダーまで申込み(9月23日締切り)  
【集合】JR柳本駅9:00 または 天理トレイルセンター9:30  
※天理トレイルセンター北側に駐車場あり  
【コース】長岳寺～竜王山～北城跡(竜王山より崇神天皇陵側に下ります)  
※参加メンバーが決まり次第、本会の集合場所を決定致します。  
※歩行距離：約8km

～奈良春日山原生林を歩くハイキング。低山ですが眺めは最高です～  
体験山行対象

### 例会山行1 奈良中部の山 《高円山》 432m

- 【日程】10月11日(日) (L上田)  
※参加者はリーダーまで申込み(9月27日締切り)  
【集合】①JR奈良駅8:30 ②近鉄奈良駅9:00  
※参加される方は、①②の都合の良い方でお越しください  
【コース】春日大社～若草山～奥山ドライブウェイ～芳山(ほやま)～高円山～火床～春日大社  
※歩行時間：約5時間(休憩含まず) ※歩行距離：約10km  
※本山行は、体験山行の対象です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

～伝説の池からラクダのコブに似た岩峰の頂まで尾根歩きを楽しみましょう～  
宿泊山行から県内日帰り山行に変更

### 例会山行2 台高山脈 《薊岳(あざみだけ)》 1,406m

- 【日程】10月18日(日) (L杉森)  
※参加者はリーダーまで申込み(10月4日締切り)  
【集合】上牧町役場前駐車場7:00  
【コース】笹野神社～古池辻～大鏡池～小屋ノ尾頭～薊岳(雌岳)～薊岳(雄岳)～小屋ノ尾頭～大鏡池～古池辻～笹野神社  
※歩行時間：約5時間(休憩含まず) ※歩行距離：約9km

## 11月度山行計画

～旧伊勢街道から古刹を訪ね、展望を楽しむ山行です！！～

公開山行

### 例会山行1 室生山地 《三郎ヶ岳》 879m

【日程】11月8日(日) (L島崎)

※ 参加者はリーダーまで申込み(10月25日締切り)

【集合】近鉄榛原駅バス停側 10:20 バス発車 10:35

車移動の場合の集合は、一般参加者は王寺駅南側 7:10

会員は上牧町役場前駐車場 7:30

【交通】

往路：新王寺 9:13⇒9:36 西田原本/田原本 9:49⇒9:56 大和八木 10:00⇒10:20 榛原

バスに乗車 10:35→(バス)→10:50 高井バス停

復路：榛原 16:47⇒17:06 大和八木 17:15⇒17:19 田原本/西田原本 17:31⇒

17:49 新王寺

※ 参加者の状況により、車での移動も考えています。

【コース】高井～(3h)～仏隆寺～(20)～高城山～(20)～三郎ヶ岳～(2h20)～榛原諸木野～  
高井バス停 16:20→(バス)→榛原駅

※ 歩行時間：約3時間30分(休憩含まず) ※ 歩行距離：約7km

※ 本山行は、公開山行です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

※ 電車・車に拘わらず、登山口まではマスク着用をお願いします。

～屏風岩の障壁を縫い、眺望の素晴らしい二山と溪流へ～

### 例会山行2 室生山地 《住塚山 1,009m～国見山 1,016m》

【日程】11月15日(日) (L亀高)

※ 参加者はリーダーまで申込み(11月1日締切り)

【集合】上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】屏風岩公苑駐車場(8:30)～住塚山(9:20)～ゼニヤタワ(9:40)～

国見山(10:20/11:00 昼食)～クマタワ峠(11:30)～分岐(12:20)～

浄土坊の滝(12:50)～分岐(13:20)～屏風岩一ノ峰(14:20)～

屏風岩公苑駐車場(14:50)

※ 歩行時間：約4時間30分(休憩含まず) ※ 歩行距離：約11km

～関西百名山、1200年の歴史ある観音寺もめぐり音羽三山を行く！～

### 例会山行2 室生山地 《音羽山・経ヶ塚山・熊ヶ岳》

【日程】11月29日(日) (L永井)

※ 参加者はリーダーまで申込み(11月15日締切り)

【集合】上牧町役場前駐車場 7:30

【コース】南音羽駐車場～(60)～音羽観音～(20)～万葉展望台～(25)～音羽山～(10)～

経ヶ塚山～(35)～熊ヶ岳～(30)～大峠～(50)～不動滝～(40)～南音羽駐車場

※ 歩行時間：約4時間30分(休憩含まず) ※ 歩行距離：約9.5km

# 西大和山の会 カレンダー

10月			11月		
1	木		1	日	
2	金		2	月	
3	土		3	火	県連理事会
4	日	県連交流山行・例会山行2《竜王山》(橋本)	4	水	
5	月		5	木	
6	火	県連理事会	6	金	
7	水		7	土	
8	木		8	日	公開山行・例会山行1《三郎ヶ岳》(島崎)
9	金		9	月	
10	土		10	火	
11	日	体験山行・例会山行1《高円山》(上田)	11	水	
12	月		12	木	
13	火		13	金	
14	水		14	土	
15	木		15	日	例会山行2《住塚山～国見山》(亀高)
16	金		16	月	
17	土		17	火	
18	日	例会山行2《薊岳》(杉森)	18	水	
19	月		19	木	
20	火		20	金	
21	水		21	土	
22	木		22	日	
23	金		23	月	西大和つうしん原稿締切
24	土	西大和つうしん原稿締切	24	火	
25	日		25	水	
26	月		26	木	
27	火		27	金	
28	水		28	土	
29	木		29	日	例会山行2《音羽三山》(永井)
30	金		30	月	
31	土				



# 山行報告

## 自主山行

## 北アルプス 雲ノ平

【日 程】8月4日(火)～8日(土)

【参加者】L 島崎・橋本・岩田(計3名)

8月4日(火) 晴れ時々曇り 折立登山口から太郎平小屋へ

【ｺｰｽｲﾄ】折立登山口(10:10)～三角点ベンチ(11:54/12:16)～五光岩ベンチ(13:55)～  
太郎平小屋(15:15)〔泊〕

新型コロナウイルス感染症で山小屋泊の登山は色々制約があり、又登山する私たちも感染予防を講じての登山となる。出発日近くなると感染者が全国で多くなり少し不安もあったが、しっかり準備して計画通りに出発することとなった。折立登山口に着くと平日にも関わらず駐車場がほぼ詰まっていた。大勢の人が登山されていることに一抹の不安も少し和らいた。

登山口からは樹林帯の急登が続き、大木の根っ子が這うように広がり歩きにくい道も多くある。三角点ベンチ回りからは展望の良い尾根歩きとなり、雄大な薬師岳を見ながら太郎平小屋に到着した。小屋での受付時にはマスク着用、検温をしてからの入室。アルコール消毒液は所々に置いてある。収容人数は少なく密を避け、ゆったりとして過ごすことが出来た。

登っている途中でNHK 富山放送の方と出会う。コロナ禍の中でも日常の生活を取り戻しながら感染予防をして登山する登山者、又山小屋の様子等取材したいので協力して欲しいとの依頼を受けたので承諾する。受付時での様子や部屋に入り大きなザックからシュラフを出して寝る様子などを撮影された。「カットされず放映されるのかな」と思いながらも初めての経験をして一日目は無事終わった。(記：橋本紀子)



8月5日(水) 晴れ 太郎平小屋から雲ノ平山荘へ

【ｺｰｽｲﾄ】太郎平小屋(6:10)～薬師沢小屋(8:40)～雲ノ平一角に入る(11:05/34)～  
雲ノ平散策・祖母岳(ばあだけ)アルプス庭園～雲ノ平山荘(14:10)〔泊〕

太郎平小屋から薬師沢小屋へは樹林の中を下る。平坦な道は木道となっており滑らないように気を付けながら歩く。3回沢を渡るがすべて橋が架かっており、増水もなく安全に渡ることが出来た。川の流れる音が徐々に大きくなるのを聞きながら、段差のある下り坂を慎重にクリアすると薬師沢小屋に到着。ここで薬師沢は黒部川と合流しているそうです。小屋からは吊り橋を渡り雲ノ平へと登っていく。苔むした岩や、滑りやすい木の根に注意しながら長い急登をひたすら懸命に登った。緩やかな傾斜になると木



道となり雲ノ平の一角に入る。先へ進むと展望が開け鷲羽岳、水晶岳、三俣蓮華岳など北アルプスの名峰に囲まれた雲ノ平に出る。祖母岳山頂のアルプス庭園ではたっぷり時間をとり、飽きの来ない景色に浸って至福の時を過ごした。

雲ノ平山荘もソーシャルディスタンスはしっかり守られており快適に過ごせた。ただ、小屋の水は雨水を再利用しているので豊富ではなく、蛇口から出る水を制限しているため少々不便を感じた。夜には、雲ノ平山荘の創立者が黒部川源流地域を開拓し、

今に至った歴史をスライドで紹介され興味深く聞かせていただいた。その際に今年は雨の日が長く続いたため、お花があまり咲かなかったと話されていた。異常気象がいたるところに影響しているのだなと思うとともに、花いっぱいの雲ノ平を見ることが出来ず少し残念に思った。  
(記：橋本紀子)



### 8月6日(木) 快晴 雲ノ平山荘から高天原山荘へ

【コース】 雲ノ平山荘(5:50)～祖父岳(8:00/30)～岩苔乗越(9:20)～水晶池(11:40/12:15)～高天原山荘(13:20)〔泊〕 往復 50 分高天原温泉

3日目は一日中快晴で、雲ノ平の絶景を満喫することができた。雲ノ平山荘を後にして途中キャンプ場まで水を補給しに20分ほど往復した。スイス庭園から望む薬師岳は最高だった。祖父岳に登り360度見渡すことができた。遠く剣岳、立山連峰、穂高連峰、近くは薬師岳、水晶岳、黒部五郎岳等を目の前に見ることができ、北アルプスの眺望を思う存分楽しんだ。岩苔乗越よりの下りは歩きにくくほとんど人に会わなかった。高山植物が咲き乱れ疲れを癒してくれた。昨日の山荘の方の話では、今年は長雨のため



開花はいまいちということであったが、温かい斜面のためか、ニッコウキスゲ、くるまゆり、白山フウロウ、イワギキョウ、タテヤマリンドウ etc. が咲き乱れ、お花畑のようで目を楽しませてくれた。花々が咲き乱れるこの時期に来ることができ良かったと思った。途中水晶池

に寄り、まさに池の上に水晶岳が迫っていた。

長い下りを降り高天原山荘に到着した。今回の山行で楽しみにしていた日本一高い秘湯高天原温泉(往復50分)につかり、身体をリフレッシュすることができた。中々ここまで足を延ばせないとのことで、ブルーの硫黄泉(露天風呂)に入ることができ満足だった。高天原山荘はランプの宿小さな山荘だが、一人区画ずつビニールシートで囲まれており、コロナ対策もしっかりされて夕ご飯も美味しかった。また水も豊富で疲れた足を



冷やすのに最適であった。

(記：岩田礼子)

### 8月7日(金) 曇り後雨 高天原山荘から太郎平小屋へ

【コース】 高天原山荘(5:00)～高天原峠(6:00)～薬師沢小屋(11:15/40)～  
太郎平小屋(14:30)〔泊〕

4 日目は雨予報のため予定より出発を早めたが、7時頃から雨が降り出した。高天原峠まで登り、薬師沢小屋まで大東新道を使って行く。雲ノ平から流れ落ちるいくつかの沢を通過する。この時期、水量が結構多く慎重に渡った。黒部川のこのあたり(黒部ダム上流)を「奥の廊下」と言うらしく勢いよく流れていた。奥深い渓流が墨絵のようだった。雨の中を滑りそうな大きな岩を渡り歩き、浮石、鎖、はしごなどがあり、緊張の連続で薬師沢小屋に着いた時はほっとした。水の流れを聞きながらの沢沿い歩きは、晴れたらもっと爽快だったと思う。



薬師沢小屋より一昨日下った道を登って再び太郎平小屋に着いた。とてもハードでこんな1日もあるかと思いいい経験になった。だいぶ転ぶのも上手になったものだ。小屋では濡れたものを干しまくり、親切にして頂き有難かった。

初めてのアルプスで5日間も歩き通せるか不安な気持ちがあったが、リーダーのSさん、数ヶ月前から近郊の山々を“目標を持って”と一緒に歩いて下さったHさんに感謝します。途中足も痛めましたが、一歩一歩と思いながら歩けばいつかは着く、そんな気持ちで歩きました。とにかくよく歩きました。

(記：岩田礼子)

## 自主山行

### 生駒山地 生駒山 642m

【日 程】 8月14日(金) 晴れ

【参加者】 L中尾・SL中・藤井・杉森(計4名)

【コース】 宝山寺P(16:30)～朝日地蔵(17:15)～スカイライン入口灯籠ゲート(18:00)～  
ぬかた園地展望所(19:30/20:25)～生駒山上ケーブル駅(21:15/25)～宝山寺(21:55)  
～宝山寺P(22:05)

連日36度超えの猛暑でこの日も晴天の暑い中、団扇を持ちながら出発! Bコースは緩やかなコースで、小さい子ども連れでも歩ける道をヒグラシの声を聞きながらゆっくりと歩きました。途中朝日地蔵と書かれた小さな道標が目に入り、寄ることにしました。小ピークに

祀られた朝日地蔵（安土桃山期の頃の造立）に出会うことができました。稜線に出ると少し気温も低くなり、風が吹き抜けて期待した通り涼しくて、広い空と夕陽の眺めは格別でした。途中にはバイオトイレもありなかなか快適なコースと感じました。

本日の日没は夕方 6 時 47 分、キラキラと宝石箱をひっくり返したような豪華な大阪平野の夜景を眺めながら、ノンアルコールビールでカンパイ！私のあり合わせのお弁当でも美味しく感じました。暗い遊園地外周を巡りながら奈良側の夜景スポットに、こちらはベッドタウンのほっとする温かい灯りに満ちていました。ケーブル線に沿ったハイキング道を下山すると、宝山寺のたくさんの灯籠の灯に迎えてもらい山行を終了しました。（記：中昌子）



\*\*\*\*\*

## 自主山行 北アルプス 薬師岳～五色ヶ原～室堂

【日 程】8月20日（木）～23日（日）

【参加者】L 野路・橋本・永井（計3名）

【交 通】佐味田川 3:20⇒9:10 立山/富山地鉄立山 9:50⇒10:04 有峰口 10:10⇒  
（夏山登山バス）⇒折立 11:10

### 8月20日（木）晴れ 折立登山口から太郎平小屋へ

【コ-ス】折立登山口(11:20)～1,870.6P(13:10)～五光岩ベンチ(14:55)～  
太郎平小屋(16:05)〔泊〕

2018年・2019年ともに雨で中止となり、3年越しにやっと実現、歩くことが出来ました。土日の天気予報が良くないので、1日早い水曜日出発に変更しようと試みたが、五色ヶ原山荘のみ変更出来ない・・・とのことで、予定通り20日出発となった。

立山までN氏のマイカーで予定通りに着き、立山から電車で有峰口へ。有峰口駅で降りるところを、おしゃべりに夢中になり、駅で沢山の登山者が乗車しても気づかず、乗って来られた登山者の方に「有峰口ですよ」と言われ、発車間際に飛び降りた。有峰口から折立への最終バスで、乗り遅れたら登山は変更せざるを得なかったかも・・・と思うと冷や汗ものでした。バスはガラガラに空いており、少し早めの昼食を摂



っていると「熊がでた!!」と辺りが騒然とし、バスが何度もクラクションを鳴らし、威嚇しても動かないようだった。食事も早々に切り上げ、辺りを警戒しながら歩き出した。

今年は、キャンプ場や駐車場付近で、また登山口でも頻りに熊が相次いで目撃されているようです。中には食事中に襲ってきたり、人が近くにいても怖がらず、食糧をねらったりしているとのこと。また、駐車していた車の窓ガラスを割って、中にあったゴミをあさったとのこと。山に餌が少なくなる夏場は、キャンプ場周辺にはエサがあると認識し、年々クマが人を怖がらず大胆になってきているのでは・・・との情報です。五光岩ベンチまでは厳しい登りだったが、1,870.6mのピークからは薬師岳が見え、また有峰湖や、紅葉カラマツ草、金光花など色々な花が沢山咲いて、厳しい登りも楽しむことができた。太郎平から明日登る薬師岳の全容や、黒部五郎岳、水晶岳など素晴らしい展望を楽しみ、夕ぐれには美しい夕焼けを眺めながら「明日も晴れる!!」・・・と思った。  
(記：野路政子)

## 8月21日(金) 晴れ 太郎平小屋～薬師岳(2,926m)～スゴ乗越小屋へ

【コース】 太郎平小屋(5:40)～薬師岳(9:40/10:00)～北薬師岳(11:05)～間山(13:45)～スゴ乗越小屋(14:20)〔泊〕

小屋から沢まで下ると、薬師峠のキャンプ場は沢山のテントが張ってあった。コロナ予防の為、若い方は小屋よりもテント泊を好むのかも知れない。また若い女性一人のテント泊が多く見られた。沢から大きな岩の間を登り、薬師平を経て薬師岳山荘へ。山荘からはザレ場のジグザグ登りになり、なかなか厳しい上りであったが、何度も休憩して素晴らしい展望を楽しみながら登る。この素晴らしい展望をゆっくり味わわないと勿体ないと思った。山頂からは、劔岳や、雲ノ平、黒部五郎岳、槍ヶ岳など北アルプスの主峰が見え、遠くは白山



や御嶽山なども望むことができた。ゆっくりと景色を楽しんだ後、北薬師岳へと向う。薬師岳で会った方々からは「この先は厳しいコースやで・・・」と言われた。痩せ尾根の岩場と、アップダウンを繰り返しながら北薬師岳へ。北薬師岳から、またアップダウンを繰り返し、

間山の手前からガレ場の歩きにくい下りになる。

行きかう何人かの方にまたもや「こんな歩きにくい道は初めてや・・・」とか「厳しいよ!!」とか、半分脅かしかな??と思いながら下った。途中「熊の糞」を何度も見かけ、笛を鳴らしながら小屋に着いた。小屋は私たち3人の貸し切りで、何処で寝てもよくとても気楽でした。夕焼けも綺麗だったが、夜中目が覚め、外を見ると満点の星空で・・・何年ぶりかに見た星空。土曜日は雨予報だったが晴れを確信した。  
(記：野路政子)



## 8月22日(土) 晴れ スゴ乗越小屋から五色ヶ原山荘へ

【コース】 スゴ乗越小屋(5:40)～スゴの頭(8:00)～越中沢岳(10:15/40)～鳶山(13:15)～五色ヶ原山荘(14:05)〔泊〕

小屋からスゴ乗越峠まで樹林帯の中を下り、峠からスゴの頭までは岩場の上りになる。頭からはスゴ乗越小屋や、昨日薬師岳から歩いた稜線がはっきりと見え、長い距離を歩いたことに我ながら感動!! 越中沢岳を過ぎると、五色ヶ原山荘の赤い屋根が見え、やれやれ・・・とホットしたがそれからアップダウンの繰り返しで、小屋まではまだまだ長い道のりであった。夏も終わりに近づいていたが、五色ヶ原まではまだ高山植物が咲いて



いて心なむコースでした。五色ヶ原山荘の宿泊数は150名。今年はコロナの影響で25名になっているところを、今日は16名のみでゆったりとしていた。五色ヶ原山荘には、昨年も電話をしており、小屋のご主人の対応の良さに「一度は泊まってみたい!!」と思っていた。今回それが実現し、翌朝早朝4時にも関わらず「お気を付けて・・・」とご主人が見送って下さり、本当に嬉しく思いました。(記:野路政子)

## 8月23日(日) 晴れ 五色ヶ原山荘から室堂へ

【コース】 五色ヶ原山荘(4:00)～獅子岳(6:15)～鬼岳東面(7:40)～龍王岳山頂直下(8:45)～浄土山(9:20)～室堂(10:20)

ご主人に見送られ、暗い中ヘッドランプを灯し、熊を警戒して笛を吹きながら歩いた。最初は木道の歩きやすい道だったが、大小様々な岩の間を滑らないよう慎重に下る。ザラ峠に着くと、稜線が白み始め夜明け間近となりホットする。ザラ峠は、戦国時代越中の領主佐々成政が、浜松の徳川家康に援助を頼むため、厳冬期(現在の1月)に立山連峰の豪雪地帯を、土地の猟師たちに先導してもらい「伝説のサラサラ越え」をしたと言われている峠。(ルートには諸説あるようです。)深い雪の中



を黙々と歩き続ける武士達、多くは凍傷にかかり、一人また一人と脱落していき、沢山の犠牲者がた・・・との逸話があるようです。ザラ峠からの上りは、ザラザラとした滑りやすい道で、鎖と梯子、岩場ありと中々スリリングなコースであった。獅子岳の山頂に着くと、雄山が見え「縦走もいよいよ終わりに近づいた!!」と感じた。獅子岳の山頂で休んでいると、一人の登山者に出会った。月曜日から1週間歩き続け、赤牛岳から始まり、水晶岳、三俣蓮華、

黒部五郎、薬師岳、五色ヶ原から黒部ダムの方に行かれるとのこと。テント泊で最初は22kgほど持っていたそうで「なんと凄い方!!」・・・と驚きと尊敬の念を抱きました。獅子岳から鬼岳東面を通り、龍王岳までは岩稜地帯で雨が降らなかったことに感謝した。龍王岳を過ぎると、もうそこは立山室堂であった。目の前に雄山や剣岳の主峰、立山連峰の峰々が見え、ここまで無事に歩けたことに感謝しつつ、あと少し事故など起こさないよう慎重に下ろうと思った。幾つもの峰を越え、岩と梯子と鎖、今日のコースが一番厳しいのでは・・・と思っていたが、以外にも室堂には早く着いた。



・総評

最初の予報は、2日間雨予報にも関わらず、意外にも4日間ともに好天に恵まれ、小屋もコロナ予防の為、人数制限で空いており快適でした。ただ、例年になく熊が至る所で目撃され、登山道まで日ごろ歩いているのでは・・・と思われる糞が幾つも転がっていました。今後は「鈴や笛は欠かせない」と思いました。3年越しで実現した山行で、本当にメンバーの方には感謝いたします。  
(記：野路政子)

\*\*\*\*\*

例会山行1 紀伊山地 高野三山

【日程】8月23日(日) 晴れ一時雨

【参加者】L岩田・S島崎・藤井・杉村・亀高・杉森・佐々木・玉野(計8名)

【コース】中の橋駐車場(8:55)～弘法大師御廟(9:15)～摩尼峠(9:43)～摩尼山(10:06)～黒河峠(10:44)～楊柳山(11:12/52 昼食)～子継峠(12:21)～三本杉(12:49)～転軸山(13:07)～森林公園～青少年多目的センター(13:35)～中の橋駐車場(14:17)

雨で金剛山、赤目山行中止のため、久しぶりの例会山行参加となった。奥の院、弘法大師御廟に国の安寧を祈願し、高野山女人道スタートです。前日の大雨のせいか、登山道も湿っていて、歩きやすく脚力がない私にはとても有難かったです。途中何度もこがね虫に会い、なんて綺麗な色なんだろうと自然の素晴らしさに感動し、山に来れている事に感謝しました。



転軸山に登る少し前から、雨が降り出しましたが、高野山森林公園に着く前には止んでいました。駐車場に着いて5分ほどで今度は滝の様な雨が降り、大雨には会わずに済みました。高野山は涼しいと期待していたので、期待通り快適なとても楽しい山行でした。

(記：玉野和恵)

\*\*\*\*\*

## 例会山行1 室生山地 赤目四十八滝

【日程】9月6日(日)曇り

【参加者】L 藤井・S L 勝尾・村田・杉村(計4名)

【コース】赤目滝バス停(9:50)～溪谷入口(10:00)～不動の滝(10:25)～千手滝(11:00)～百畳岩(11:55/12:05)～琵琶滝(12:55/13:05)～百畳岩(13:40)～バス停(14:50)

体験山行として鈴鹿の入道ヶ岳を予定していたが車の手配がつかず、7月に雨で中止になった赤目四十八滝の電車山行に変更した。九州地方に大型の台風10号が接近しているとのことだが、近畿には影響がないと判断して決行する。果たしてガラガラのバスを降りると、ポツポツと雨が・・・とりあえず、ぶさかわいい(?)天然記念物のサンショウウオを鑑賞して外に出るとなんと日が差してきた。メンバーの心がけのおかげかな。ひんやりして涼しい溪谷を歩いていくと四十八滝の名の通り、次々と美しい滝が現れる。不動滝の入口には赤い目をした黒い牛が鎮座していてなでるとご利益があるとか、赤目の名の由来にもなっているそうだ。岩を伝って千手のように落水する千手滝が千手観音なら、高さ30mから一条の布をかけたように落ちる布曳滝は優雅で気品があり百済観音の様だ。合掌。



百畳岩で昼食をとり、さらに二つに分かれて流れ落ちる荷担滝、楽器の琵琶に似た琵琶滝を見てここで引き返す。8月は雨が少なかったため水の流れていない隠れ滝もいくつかあった。対岸には柱状節理の見事な岩壁が続き、手前の岩にはイワタバコの葉が群生している。花の頃にまた来たいものだ。時より涼しい風が吹き抜け、下界の暑さを忘れさせてくれる爽やか山行になった。コロナの影響だろう、電車もバスも門前界限も人が少なく、ひっそりしていた。(記：藤井益子)

# 自主山行 北アルプス 西穂高岳～奥穂高岳～槍ヶ岳縦走 (2,908.8m) (3,190m) (3,179.7m)

【日程】9月13日(日)～17日(木)

【参加者】L 島崎・野路(計2名)

## 9月13日(日) 小雨後曇り 新穂高ロープウェイ千石平から西穂高山荘へ

【コース】佐味田川(4:00)⇒新穂高温泉(9:30)⇒新穂高ロープウェイ千石平(11:00)～西穂高山荘(12:30)〔泊〕

午後から、雨と雷が強くなるとの予報で、出発を2時間早めた。予想外に雨は早く、新穂高温泉に着いた時が最も激しく、歩き出すころには小雨から曇りにと変わり、小屋には昼過ぎに着いた。受付が13時からということを知らず、30分待つ間は気温も低く寒かった。

今回「西穂高岳から奥穂高岳、北穂高岳からラストの槍ヶ岳までの縦走」は、3年前のジャンダルム山行の時から・・・このコースで槍ヶ岳までの縦走をしてみたい・・・と考えていたコース。小屋前のテント場は、ほとんど埋まるほどのテントが並んでいた。今日は雨なのに、明日からの天気を期待しての山行・・・私たちは勿論、他の方々も無事山行が終えることを願った。

(記：野路政子)



## 9月14日(月) 晴れ 西穂高山荘～ジャンダルム～奥穂高山荘

【コース】西穂高山荘(4:05)～丸山(4:35)～西穂高岳(7:10)～間ノ岳(8:45)～天狗の頭(10:00)～ジャンダルム(13:10)～奥穂高岳(15:10)～穂高岳山荘(15:55)〔泊〕



4時過ぎ、ヘッドランプを付けて歩き出す。さあ長いロードの始まり。これから12時間ほどかかるコースは、厳しいアップダウンと、岩場の連続が奥穂高岳から穂高岳山荘まで続く。

早い方は、3時過ぎには出発しているようだ。独標に着くころには稜線が明るくなり、美しい夜明けが、今日は快晴よ・・・と言ってくれていた。

独標から西穂高岳までは完全な岩場の連続で、ピラミッドピークなど11峰のアップダウンを繰り返し、西穂高岳に到着。ここからは、一般コースではない地図では点線になっているコースへ踏み入れる。今回、このコースを歩く方が多く、女性の単独行の方も何名か先に行かれた。なんと嬉しい・・・方々でしょう。

西穂高岳からガレ場で浮石が多い、と言われている間ノ岳までには4つのピークを越え、逆層スラブは斜めの大きな岩が何層にも重なり、20mぐらいの高さを何度も鎖で乗り越え、天狗の頭を目指す。天狗の頭からコルまでの下りは要注意。天

狗の科尔から「豊岩」の大きな1枚岩のような登りになる。豊尾根の頭に着くと「ジャンダルム」が目の前に姿をみせてくれる。山頂に登ったときには、岐阜側からガスが上がってきて、はっきりと景色を見ることが出来なかった。前回の時も見えず、ここは午後には必ずガスが出てくる・・・残念!!

西穂側から見るジャンダルムは、丸い岩稜の山に見えるが、奥穂側に回り込むと「天を衝く」ように険しく聳える姿は、圧倒的な迫力と威圧感で、誰も寄せ付けられない雰囲気のある雄姿である。

メインのジャンダルムを過ぎて、後半最難関連続の核心部へと入る。そして「ロバの耳」へと進み、ロバの耳からの下りは、鎖もないかなり難度の高い下りで要注意。両側がスッパリと切れ落ちた、最難関の「痩せ尾根からナイフリッジ」へと進む。これが最後のハイライト??・・・とも言える難所で、これを無事に通過出来れば、今日のコースはほぼ成功・・・。

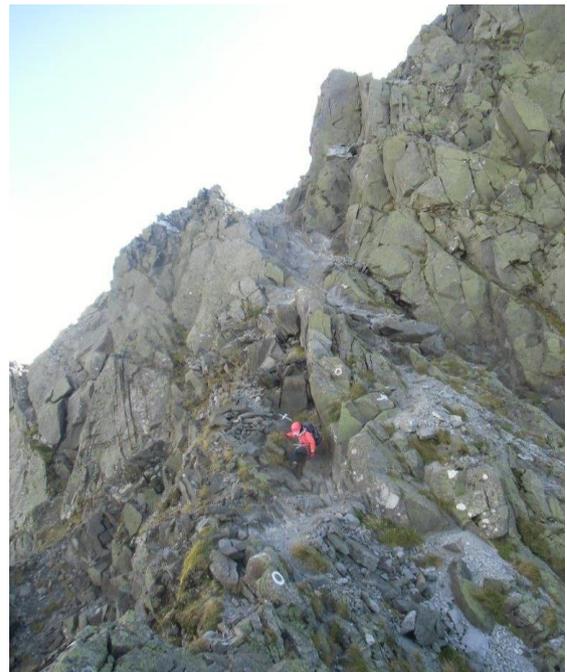
二回目のコースであったが、やはり難度の高い、最後まで気の抜けないコース、スリル満点のコースである。しかし、落ち着いて歩けたので、ゆったりと楽しむことが出来た。

さあ、明日もまた「大キレット」が待っている!! 頑張ろう! (記:野路政子)

## 9月15日(火) 晴れ 奥穂高山荘～大キレット～南岳小屋

【J-タイム】穂高岳山荘(4:40)～涸沢岳(5:10)～北穂高岳(8:20)～長谷川ピーク(10:50)～南岳小屋(13:00)〔泊〕

昨日に続き今日も天気予報では晴れ、今回の絶対条件はクリアー。ヘッドライトを付けて出発、だが風が冷たい。涸沢岳で日の出を待ってから、涸沢岳直下を下る。半端ではない垂直の下りが続く中を慎重に下って行く。遠くにはこれから行く槍ヶ岳を眺めながら、幾重のアツダウンを経て、北穂高岳を目指す。これがなかなか遠い。振り返れば、すでに涸沢



岳は遠くに見える。やっとの思いで北穂高岳に到着。ここからこれから行く大キレットが一望のもと、眼下に展望できる。北穂高岳より、飛騨泣きをこれでもかと思うほどに下って、やっとAコルへ到着。一休みして、さらに長谷川ピークを越え、稜線を行く。大キレットの後半は登りの連続で、岩稜を登り、梯子を登り、休み休み行くが、南岳小屋手前の登りで相当疲れてしまっていた。南岳小屋より槍ヶ岳山荘迄さらに3時間かかるので、南岳小屋に泊まる事にした。小屋にて宿泊のお願いをした処、丁度1名のキャンセルがでたので、1名はOKだが、あと1名が難しいとの事。なんとかお願いして、緊急避難者用に個室があるので、そこに泊めて頂けるようになり、やれやれこれで一安心！！ゆっくり休むことができた。  
(記：島崎隆)

## 9月16日(水) 曇り後晴れ 南岳小屋～槍ヶ岳～槍平小屋～新穂高温泉

【3-241】南岳小屋(5:45)～中岳(7:17)～槍ヶ岳山荘(8:45)～槍ヶ岳山頂(9:15/40)～  
槍ヶ岳山荘(10:10)～槍平小屋(12:45/13:10)～新穂高温泉(17:00)〔泊〕

当初の予定通り、槍ヶ岳まで縦走する事になる。やはり風が冷たいのでダウンを着て行く。中岳～大喰岳の稜線を行くと、だんだん槍ヶ岳が大きくなって来出し、凄く励みになってくる。昨日来より、1人の男性と顔みしりになって、写真を撮ってもらったりしながら、だんだん槍ヶ岳が近くなって来る。槍ヶ岳山荘迄コースタイム通り3時間で到着する。野路さんの気力は大したものです。おじさんと一緒に山頂に登る。頂上からは東鎌尾根(表銀座コース)、昨年登った西鎌尾根コース、今日来た南岳コースを眼下に見ながら、良く本当に来れたものだと感激ひとしきり。



降りて、おじさんにコーヒーをご馳走して頂けるとの事で一休みする。飛騨乗越を延々と下って、13時前に槍平小屋に着いた。昼食タイムをとり、出発しようとする、おじさんが到着。お互いの無事を願って別れ、新穂高温泉に向けて出発。途中5月の地震の影響で大きな岩が落ちており、迂回路を行く。なんとか17時新穂高温泉の登山届のある事務所に到着する事が出来、本当に無事戻って来れて、感激もひとしお！！

本当にお疲れ様でした！！野路さんの頑張りには只々、脱帽デス！！素晴らしい思い出になりました。本当にありがとうございました。



☆コロナ禍でもあり、山小屋・縦走路はやはり人が少なく、ある面快適な夏山山行でした。

☆ジャングルム、大キレット間の2日間は絶対条件として、晴れである事、時間的に余裕のあるコースタイムであることが達成条件だと思います。それと同時に気力・体力が必要です。

(記：島崎隆)

# 西大和つうしん

第 457 号 (2020 年 9・10 月号)

2020 年 9 月 30 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>